



伊豆市議会だより

No.67

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集:議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906 **2021.2.1発行**



春近し(日本の棚田百選 荒原の棚田にて)

目次

■ 新春のごあいさつ(議長)	2
■ 令和2年12月定例会 概要	4
■ 市政を問う～一般質問～	8
■ 議員の寄附について・編集後記	12



議会ホームページへ

新春のごあいさつ

11の11



伊豆市議会議長
小長谷 順二

新年あけましておめでとうござ
います。

市民の皆様には新春をお健やか
にお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

依然として世界中で猛威を振る
う新型コロナウイルス感染症は収
束のめどが立っておらず、11月以
降再び都市圏を中心として全国的
に感染者数が増加傾向にあり、ま
さに第3波の真ただ中で、かつ
てない時代の転換期を迎え『新し
い生活様式』の推進などにより市
民の意識や価値観も変化を余儀な
くされています。

一年遅れで開催予定の東京オリ
ンピック・パラリンピック大会は、
東日本震災からの復興を世界へ
発信するという狙いがあり、さら
に世界の人々が力を合わせて新型
コロナを克服する機会にするとい
う新たな目標が加わりました。困
難ですが価値ある目標であり、ぜ
ひ開催を実現して頂きたいと思っ
ています。

観光産業を地域経済の根幹とす
る伊豆市では、観光客の激減や緊
急事態宣言中の営業自粛など、大
きな経済的打撃を受けています。
さらに新型コロナウイルスで生
活が大きく変わり、自宅でリモ
トワークやリモート会議の日々を
送ることで『仕事はどこでもでき
る』との気付きも得ました。東京
一極集中を是正して地域への活路
を伊豆市としてどう見出し出すか、
大きなチャンスにしていくべきだ
と考えております。

このような状況の中、市では感
染症拡大防止対策や事業者支援、
子育て世代支援等の実施に取り組
んできました。今後はポストコロ
ナを見据え、伊豆市の未来に繋が
るように、子どもや事業者への支
援・コロナウイルス感染拡大中の
防災対策など、全市民に行き届く
事業に取り組んでいく必要があります。

また伊豆市議会においても、昨
年10月に市議会選挙が行われ、新
人議員5人の当選により伊豆市議
会に新しい風が吹き込まれまし
た。今後さらに地方分権が進む中、
市民の皆様が信頼される議会、開
かれた議会を実現するために、議
員自らの政策立案能力を高めるこ
とがますます求められておりま
す。議員間の議論を深め、二元代
表制の一翼を担う責任ある意思決
定機関として、伊豆市の限らない
発展の為に力を尽くしていきたい
と考えております。

今年の干支は丑年です。丑年は
『大きな希望が芽生える年になる』
と言われています。
本年が皆様にとって良い年であ
りますよう祈念いたしまして、年
頭のご挨拶と致します。

議長 小長谷 順二



令和2年11月臨時会で審議した議案等

	件名	賛否	審議結果
予 算	令和2年度伊豆市一般会計補正予算（第8回）	全会一致	可決
その他	工事請負契約の締結について	全会一致	可決

令和2年12月定例会で審議した議案等

	件名	賛否	審議結果
予 算	令和2年度伊豆市一般会計補正予算（第9回）	全会一致	可決
	令和2年度伊豆市公共用地取得事業特別会計補正予算（第1回）	全会一致	可決
	令和2年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）	全会一致	可決
	令和2年度伊豆市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）	全会一致	可決
	令和2年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第2回）	全会一致	可決
	令和2年度伊豆市下水道事業会計補正予算（第1回）	全会一致	可決
条例	伊豆市コミュニティ防災センター条例の廃止について	全会一致	可決
	伊豆市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	全会一致	可決
	伊豆市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	全会一致	可決
	地方税法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	全会一致	可決
その他	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について	全会一致	可決
	財産の取得について	全会一致	可決
	伊豆市監査委員の選任について	全会一致	同意
	公の施設の指定管理者の指定について（修善寺総合会館）	全会一致	可決
	公の施設の指定管理者の指定について（持越オートキャンプ場）	全会一致	可決
	公の施設の指定管理者の指定について（地域集会施設）	全会一致	可決
	公の施設の指定管理者の指定について（伊豆市シニアプラザ）	全会一致	可決
	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致	適任
訴えの提起について	全会一致	可決	
意見書	防災・減災、国土強靱化のための対策のさらなる推進に関する意見書	全会一致	可決
議員発議	伊豆市新中学校の着実な建設を求める決議	全会一致	可決
	伊豆市議会議会改革推進特別委員会設置に関する決議	全会一致	可決

令和2年12月定例会

11月26日から12月17日までの22日間、令和2年伊豆市議会12月定例会が行われました。

一般会計では4億390万円の増額補正が可決され、令和2年度

一般会計予算の総額は239億8650万円になりました。

(※審議した議案一覧は前ページに掲載)

令和2年度補正予算

◆一般会計補正予算(第9回)

人事院勧告や時間外調整等に伴う人件費の減、廃棄物を含む土砂流入対策に係る訴訟関係経費の増、障害福祉サービスの増、介護給付費の増加に伴う介護保険特別会計繰出金の増、公的病院移転新築事業費補助金、河川水質検査委託料の増など、総合して4億390万円の増額を行うもの。

◆公共用地取得事業特別会計補正予算(第1回)

土地開発基金繰入金を利用し、県道伊東修善寺線の将来的な改良工事のための事業用地、代替用地として修善寺交番付近の土地・家屋を取得するため3900万円の増額を行うもの。

条例

◆伊豆市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について

令和2年10月の人事院勧告に基づき特別職及び一般職の職員の期末手当の支給率を引き下げる。

◆会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例について

フルタイム会計年度任用職員の給与及び期末手当等は一般職員の例によって支給するとされているが、会計年度任用職員制度については年度の途中での勤務条件の変更を行わないため、年度当初の給与法等を継続して使用することを規定する特例を設ける。

人事

◆伊豆市監査委員の選任について

議員のうちから選任する監査委員について、青木靖議員を選任することに同意した。

◆人権擁護委員候補者の推薦について

令和3年3月31日をもって任期満了となる安藤裕夫氏、伊郷圭子氏、塩谷美博氏の3名を引き続き委員として推薦することに同意した。

人権擁護委員は法務大臣が3年の任期で委嘱しており、安藤氏は現在2期目、伊郷氏及び塩谷氏は現在1期目となる。

その他

◆財産の取得について

文部科学省が掲げるGIGAスクール構想の一環で1人1台パソコンを取得するため、2in1パソコンを1793台、端末携帯用バッグ1661個、ワイヤレスディスプレイアダプタを86台購入するというもの。取得先は、静岡

県浜松市の遠鉄システムサービス株式会社。

◆公の施設の指定管理者の指定について

令和3年3月31日をもって指定期間が終了する施設について、それぞれ現在の指定管理者を継続して指定するもの。

◆訴えの提起について

宗教法人平和寺本山の敷地に大量の廃棄物及び土砂が持ち込まれ、隣接している市有地にこの土砂等が流出し環境に重大な影響を及ぼしていることから、宗教法人平和寺本山及び関係者4人を相手として損害賠償金の支払いと市有地内及び平和寺本山所有地内の廃棄物及び土砂の除去を求める訴えを提起することについて、議会の議決を求めるもの。

議員発議

◆防災・減災、国土強靱化のための対策のさらなる推進に関する意見書(総務経済委員会委員長)

国に対し、中長期的な視点に立

ち、防災・減災、国土強靱化のための対策をさらに推進するため、次に掲げる事項について取り組むよう強く要望する。

1 防災・減災、国土強靱化に向けた事業支援対象の拡充や支援要件の緩和などの制度拡充を図ること。

2 防災・減災、国土強靱化のための対策をさらに推進するため、地方自治体が国土強靱化地域計画に基づき実施する対策に十分な予算を確保し、その配分に当たっては、社会資本整備の遅れている地方に十分配慮すること。

3 災害復旧・災害関連予算の確保や補助対象の拡大を図るとともに、国土強靱化のための財源を安定的に確保するための措置を講ずること。

以上、伊豆市議会名義で提出する。

◆伊豆市新中学校の着実な建設を
求める決議（青木靖 議員）

議会も新中学校が着実に整備されることを望んでいることを示すことにより、伊豆市の子どもたち

により良い教育環境を提供するため、事業推進を着実に取り組むよう市に強く求める。

1 校地の決定と各種手続き等の
推進

目指すべき「より良い教育環境」としての必要な面積の確保、通学を含めた生徒の安全の確保、災害時の拠点の補完機能等の観点から、日向地区を校地として定めるべきである。加えて、各種手続きや用地の取得についても基本構想に示された令和7年度当初の開校に向けた工程に遅れが生じないよう、着実に歩みを進めるべきである。

2 通学対策の方針決定と開校に
向けた準備の推進

保護者にとって大きな不安要素である通学方法について、バス通学の路線確保や利便性向上、歩道の安全性等、保護者の不安の払しょくに向けて、万全の対策を講じるべきである。

3 市の将来負担に配慮した事業
の推進

事業の推進に当たっては、国や県による補助金の活用はもちろんのこと、最も有利な財源である「合

併特例債」の活用期限に間に合うよう、令和6年度末までに事業を完成させ、市の将来負担を極力軽減させるべきである。

◆伊豆市議会議会改革推進特別委
員会設置に関する決議（三田忠
男 議員）

多様な人材からの議員確保による議会活性化を図ることを目的とした調査研究を行う場として、伊豆市議会委員会条例第5条の規定による特別委員会を設置することが望ましいと考え、「伊豆市議会議会改革推進特別委員会」を設置することを提案する。

名称 伊豆市議会 議会改革
推進特別委員会

付議事件 伊豆市議会議員に幅広く多様な人材が立候補することで将来の議会がより活性化することを目的に、議員報酬のあり方を中心とした議会改革に関する調査研究を行う。

委員定数 6人
調査期間 設置の日から調査終了まで、概ね2年間とする。

○この決議の可決により、本会議

中に委員会を行い、委員及び正副
委員長を決定しました。
議会改革推進特別委員会

委員長 永岡康司
副委員長 波多野靖明
委員 鈴木優治、黒須淳美、
鈴木正人、波多野靖明、
永岡康司、杉山誠



委員会の議案審査で、
次のような質疑がありました

総務経済委員会

◆一般会計補正予算（第9回）
問 市道越路嵐山線改良工事の不
調になった理由と予定価格の設定
について説明を求める。

答 入札不調の理由は設定した工
期では配置予定技術者の確保が困
難であることや、橋桁を制作する
ための工場に空きがなかったこと
などの理由であり、予定価格の設
定については、国、県の設計基準
に基づき設計・積算し予定価格を
設定して作成しています。

問 有害鳥獣被害防止対策協議会補助金について、142万5千円で有害鳥獣被害対策が賄えるのか。

答 この補助金は鳥獣被害防止総合対策の推進及びジビエ利用拡大加速化支援事業として、農林水産省及びジビエ振興協会が進めます。捕獲から出荷までの一元化管理システムの開発にあたり、イブシカ問屋が実証施設として選定され、システム導入に必要なハンディー端末、計量機器の購入やサーバーの設定費用で、全額国庫の補助をお願いするものです。

問 公有林管理事業の訴訟関係調査の委託の根拠について説明を求め。

答 訴訟において、今後、証拠を出すための調査等が発生すると想定されるので、その調査等の委託料として200万円を計上しました。

◆公共用地取得事業特別会計補正予算(第1回)

問 隣接する交番の移転の可能性について説明を求め。

答 交番の移転については警察の考えになるが、土地を取得後に交差点の改良をするときには、いろいろな改良計画が開けたと考え、今後検討・協議していきます。

◆公の施設の指定管理の指定について(持越オートキャンプ場)

問 オートキャンプ場の温泉の現状と、市として何か支援がないか。

答 温泉施設については、現在、温泉のポンプが故障し、源泉も枯渇しているため利用出来ない状態です。オートキャンプ場も社員の高齢化等により昨年9月から休業しておりましたが、今年に入り県外からの移住者が当施設の運営に携わることになり、年内に施設再開の見通しとなっています。

教育厚生委員会

◆一般会計補正予算(第9回)

問 小学校費、中学校費の電気料は当初予算でエアコンが整備されたことにより増額となったとの説明を受けたが、更に補正をしなければならぬ理由は。

答 新型コロナウイルスの関係

で、空調をかけながら換気を行うことでエアコンの電気料が増加となってしまいました。

問 修善寺南小学校の改修工事は、通級指導教室設置のためとの説明であったが、どのような改修が必要か。必要とする備品は何を考えているか。

答 エアコンの設置が一番大きなもので、若干の備品購入があります。備品は、1対1での指導がしやすいとなるパーテーションを考えられています。

問 河川水質検査委託料の増について、追加の部分でどういう検査をするのか。

答 今まで調査をしてきた小尻梨橋と土砂等が流出している地点の上流と下流、それから柿木第1砂防ダム、小白ヶ沢橋、柿木橋を加えて調査地点を6地点にしました。調査項目は、人の健康の保護に関する27項目、生活環境に関する5項目、計32項目を予定しています。

問 滞納者電話催告等業務委託

は、どの様に行うか。

答 税務課の執務室で、外部から派遣されるオペレーター2名により、滞納者に電話催告を行います。

問 公的病院移転新築補助事業で、合併特例債を財源としている根拠は。

答 当該事業は、新市建設計画に位置付けられているため、合併特例債の充当が可能です。

◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)

問 給付金174万8千円の増額の理由は何か。

答 当初4060人を軽減対象者と見込んでいましたが、4255人に増えたためです。

問 軽減対象者の割合は。

答 被保険者6445人に対し、66%が軽減対象となります。

◆介護保険特別会計補正予算(第2回)

問 保険給付費の増額の理由は、人員が増えたのか、サービス態様が変わったためなのか。

答 全体的にサービス利用件数が増加していることによるもので、介護サービスを上手に利用されている方が増えてきているものと思われまます。また、今年の8月から介護医療院が開設され、給付費の増額が見込まれることになりました。増加したサービスと減少したサービスがあり総合して補正をお願いしています。

◆財産の取得について

問 アクティブラーニングの観点からの効果、遠距離教育という点からの効果はどう見込まれるか。

答 導入ソフトにより、子供たちが自分たちで学んだことをお互いに意見交換しながら学びを深めていく、アクティブラーニングに繋がる勉強方法ができると考えています。オンラインを使った同時授業はなかなか難しいものがあると感じていますが、お互いの意見交換だとか、生徒会同士の交流には使いたいと思っています。

◆公の施設の指定管理者の指定について(伊豆市シニアプラザ)

問 施設は、どのような人がどの

様な利用をしているか。利用頻度はどうか。

答 高齢者をはじめ、地域の方が利用しております。長寿介護課の所管ではロコトレを開催しております。年間約1800人が利用しています。

討 論

◆議案第90号

一般会計補正予算(第9回)

賛成討論

(三田 忠男 議員)

今回の補正予算は、主に平和寺土砂流入対策訴訟関係、障害福祉サービス費、介護給付費、公的病院移転新築事業費補助金、南小軽度発達障碍児通級指導教室設置改修工事費、8か月児受入等の市立こども園給食業務委託費追加、工事早期完成のための継続費・債務負担行為等、いずれも、伊豆市民の暮らしや自然環境を守り、生活の安心と命を守る事業、地域の雇用や農林事業者の作物や森林を守る経費であり、伊豆市の子どもの能力に応じた教育環境の整備であ

り、子育て世代の労働環境の支援であり、いずれも必要不可欠な補正予算であります。(他 賛成討論1件)

◆議案第91号

公共用地取得事業特別会計補正予算(第1回)

賛成討論

(飯田 大 議員)

この補正は、県道伊東修善寺線の将来的な改良工事のための事業用地、代替用地の先行取得について3900万円を増額するものです。

対象となった物件は修善寺駅より徒歩2分強の駅前商店街にあり、近隣には金融機関が複数ある市街地で、利便性に富んでいます。駅前西側の交差点では日常的に渋滞が見られ、改良を図る必要があります。

今後、地元住民の要望や意見を取り入れながらこの事業を進めていただくことを望みます。

◆議案第10号

財産の取得について

賛成討論

(杉山 誠 議員)

この議案は、文部科学省が掲げ

るGIGAスクール構想の一環で、市内小・中・義務教育学校の児童生徒一人1台のパソコン等を取得するためのものです。

今回購入する端末には、AIが診断して個々に適した問題を出題する機能も備えるなど、学習の遅れや苦手の克服に向けた効果が期待でき、家庭環境や個性に関わらず、全ての子どもたちに対して「だれ一人取り残さない」教育の実現に取り組むことを期待します。

◆議案第10号

訴えの提起について

賛成討論

(杉山 武司 議員)

柿木川上流の平和寺敷地内から廃棄物混じりの大量の土砂が流出し、柿木川にまで汚染が及び深刻な環境問題にまで発展しました。幾度となく市と県は行政指導を講じてきましたが、平和寺側の誠意ある対応が見られないため、民事事件として土地所有者の管理責任を問うための訴えです。

自然環境の破壊の拡大を防止し、子々孫々まで影響が及ばないよう早急な対応が求められます。

市政を問う

～一般質問～



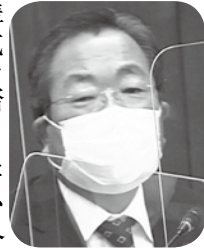
録画配信へ

12月定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

**重要課題実現のため
市長との対話を求めます**

(三田 忠男 議員)



市議会議員選挙の結果、有権者はどのようなことを期待したと考えますか。

選挙後の新たな議会構成を踏まえて、今後の市政運営の重要課題実現のため議会との関係をどのように進めていきますか。

議会・党派等伊豆市の現状の共通認識を深めるため、様々な場面で、対話の場を設けるつもりはありませんか。

市長 答

**議員との意見交換を
深めたいと思います**

ここ数年間、市民の皆さんは、行政が停滞しているように感じられているのではないのでしょうか。市に必要な施策は市民の皆さんと共有されている感じであり、スピードを加速して進めるべきであると期待されているものと考えています。

市の課題を政策として整理する段階で、議員の皆さんとの意見交換を深めたいと思います。市民が求めていることは「行政と議会の相互信頼関係の再構築」であろうと思います。

これからの行政と議会の関係においては、相互の信頼のうえに立って、市民の公益のために、事実に基づいた議論を積み上げ、山積する課題に対してスピード感をもって取り組んでまいりたいと考えています。そのために、コンプライアンスを重視した、公正な行政運営に努めていくことを、あらためてここにお願いいたします。

質問

新中学校整備に向けて

(青木 靖 議員)



伊豆市主要事業の説明での「伊豆市新中学校建設スケジュール概要」によると、近々にも*

農振除外の手続きに入ることになっていますが、準備は進んでいますか。また、保護者からの要望が多い通学対策についての検討は怎么样了。令和7年度開校予定の新中学校について保護者への説明はどうなっていますか。

市長 答

新中学校整備に向けて

*農振除外の手続きについては、校舎等の基本設計と同時進行で、県に相談しながら作業を進めています。通学対策ですが、全体の約8割の生徒がバス通学の対象となるため、通学バスの確保が非常に重要な課題となります。スムーズな通学を行うため、バス事業者にも相談しながら検討を重ねています。保護者の皆さまへの説明はコロナ禍ではありますが、1月から2月頃に説明会等を行い、ご意見を伺いながら更に詳細な検討に繋がっていきたくと考えています。

※農地転用を可能とするための手続き

質問
観光防災まちづくり
推進計画を考える



(永岡 康司 議員)

伊豆市、海と共に生きる。観光防災まちづくり推進計画を策定するにあたり、

- ① オレンジゾーンに津波避難複合施設を設置する目的は。
- ② 保安林としての機能を保てますか。
- ③ 避難タワーに商業施設を設置する経済効果をどの様に見込んでいますか。
- ④ 市民とのコンセンサスは取れていますか。

総務部長 答弁
観光防災まちづくり
推進計画を考える

- ① 災害時は津波からの避難場所として住民と観光客の安全・安心を確保し、平時は、地域交流や観光地などの地域産業振興拠点として松原公園に計画しています。
- ② 本年7月の市民集会でお示しした当初の計画位置案に基づく松の木伐採を見込んで、保安林としての機能を著しく損なうことはないと考えています。
- ④ 市民集会などで、防災と観光の両面に役立つ複合施設の必要性を話し合ってきました。今後も地域の皆様からのご意見を検証し、進めて参ります。
- ③ 普段使いの商業施設を併設することにより、土肥地区はもろろん、市の新たな観光拠点として、観光業の振興、地域の振興に資するものと考えています。

質問
横断歩道に近接した
危険なバス停の対策を



(杉山 誠 議員)

バスの車体が横断歩道にかかる停留所が問題視され、国が実態調査を行っています。

市内にはこのような危険なバス停が多くあり、特に県道伊東修善寺線は交通量も多く、交通事故のリスクが高いといえます。このため、事故を未然に防ぐ対策を検討すべきと考えますがいかがでしょうか。

政策部長 答弁
合同検討会で安全対策
を検討していきます

現在、国が実態調査を行っており、危険なバス停に該当する可能性が高いバス停があることは認識しております。今後、国土交通省静岡運輸支局とバス事業者、警察、県などで行う「合同検討会」により、バス停や横断歩道の移設、危険を知らせる看板の設置などの安全対策を検討していきます。ただし、バス停の移設など、バス事業者が行う安全対策については、近隣住民との調整が必要な場合には、市も協力して改善に努めていきたいと考えております。

質問
平和寺問題の早期完全
解決に向けた取組



(下山 祥一 議員)

平和寺本山の敷地内から廃棄物を含んだ大量の土砂が流失し自然

環境が破壊され、市民の安心安全が脅かされています。行政の枠を超え、市民・議会・県・近隣市町さらにメディアとも情報を共有し、市民の不安を払しょくするために、早期完全解決に向け一丸となって取り組むべきと考えますが、今後の対策はどのように進めますか。

市長 答弁
平和寺問題の早期解決
に向けた取組

台風など大雨の際に廃棄物や土砂が流出した場合、市民生活や河川環境への影響が深刻化する可能性がありますので、最終的な解決のためには、恒久的な対策を検討し確実に実施していく必要があると考えています。今後も県や警察などの関係機関と連携しつつ、このように悪質な環境汚染事案を決して許さないという強い覚悟を持って、問題の根本的な解決に向けて、不退転の決意で対応してまいります。

質問

交通弱者の
移動手段について

(小川 多美子 議員)

人口減少による路線バスの減便や廃止、また運転免許証の返納等にもより多くの高齢者が買い物や病院への受診等生活に不便を感じています。

このような交通弱者の移動手段として、各地域の実情に合った交通システム、例えばコミュニティバスなどを考えていただくことはできないでしょうか。

策答
市長
総合部長市民の地域内交通の
ニーズ調査を行います

市域が広い当市においては、市内を運行している路線バスは、主要な幹線を中心とした運行となっており、全ての支線をカバーする地域内交通は今後の課題となっております。来年度、市の公共交通計画の見直しを予定しており、地域の方々が望んでいる地域内交通などのニーズ調査を行い、結果を精査した上で、今後も地域の実情にあった地域内交通の施策を、運営主体を含めて地域の皆さまと共に検討してまいりたいと考えています。

質問

伊豆市、最大の課題は
人口政策！

(星谷 和馬 議員)

伊豆市の人口は、本年9月には3万人を下回ってしまいました。

2045年、伊豆市まち・ひと・しごと創生は2万1000人を目標。税収は減少し、衰退、行政サービスの低下も避けられません。山間地域は限界集落、消滅集落が発生します。比例して農地の荒廃も予想されます。持続可能なまち作りを目指すための人口減少対策を伺います。

長答
市長抑制戦略と適応戦略を
推進

昨年度策定した「伊豆市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても人口減少対策を最優先とすると謳っています。総合戦略に位置づけた施策をしっかりと継続するとともに、人口減少対策を抑制戦略と適応戦略に分け、今までは人口減少を抑制する戦略に特化してきましたが、人口減少が進む中においても都市機能を維持するための適応戦略も検討し、必要な行政サービスを維持することの努力を併せて進めていきたいと考えています。

質問

伊豆市児童発達支援
センターの現状は

(間野 みどり 議員)

令和2年6月に開所しました伊豆市児童発達支援センターも6ヶ月ほど経ちました。その後の経過はどのような様子ですか。

① 利用者の状況はどうですか。
② 市内こども園との併行通園利用者はどの位いますか。
③ 利用者の声等聞こえますか。
④ 今後の方向性はどのように考えていますか。

策答
部長
健康福祉伊豆市児童発達支援に
ついて

① 8名でスタートしましたが、現在は11名が利用しています。また、在籍することも園に訪問する保育所等訪問支援は10件、面談を行い今後の計画を作成する計画相談は12件です。
② こども園等に在籍して週に2日〜3日センターに通う併行通園の園児は、8名です。
③ 「自分でできることが増えた」「発する言葉が増えた」などと保護者の声がかれ、子ども達の変化が感じられます。
④ 小学校入学に向けて、適切な支援に「つながり」ことを目的に進めていきます。

質問

移住者ケアチームの創設を



(浅田 藤一 議員)

コロナ禍により都会からの移住希望が増えています。人口減少対策として大きなチャンスと認識するとともに

地域の習慣や守るべきルールを伝えなければトラブルの原因となってしまう。移住者との円滑なコミュニケーションづくりのために地域のリーダーと行政担当者、民間事業者で組織する移住者徹底ケアチームの創設は必要だと考えられませんか。

長弁 市答

次年度の組織改編に向けて検討を進めます

市では、移住者が希望する地域の習慣やルールなど、職員や地域の知り合いを通じての情報収集を行っており、できる限りのルールを伝えております。

移住者徹底ケアチームの創設ですが、地方創生が叫ばれる中で、今後も移住定住対策は重要な施策の一つであることに変わりはありませんので、移住定住に関する、より強力な支援体制を構築することが必要であると考えられています。

会派変更のお知らせ

10月の市議会議員選挙に伴い、次のとおり会派が結成されました。

○I-ZU未来

新代表者：三田忠男
所属議員：三田忠男、杉山誠、青木靖、下山祥二、

間野みどり、波多野靖明、小長谷順二、浅田藤二、黒須淳美、飯田大、鈴木優治

○伊豆クラブ

新代表者：星谷和馬
所属議員：星谷和馬、永岡康司

○会派に属さない議員

小川多美子、杉山武司、鈴木正人

【会派とは】

市議会において政策、目的等を同じくし、調査研究、政策立案等を行うため、議員2人以上が所属して議長に届け出した団体をいう。

(伊豆市議会会派に関する規程第2条より)

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができませんが、現在、感染症対策のため傍聴席へ入る人数を制限しています。傍聴を希望される方が10名を超える場合は、別室で中継映像による傍聴となります。

本会議は、インターネットによる生中継と録画配信も行っています。ぜひご覧ください。傍聴に関するお問い合わせ

(議会事務局 0558-7219906)

令和3年

3月定例会の予定

場所 本庁2階 議場

時間 午前9時30分～

2月24日(水) 施政方針演説 議案上程

3月3日(水) 議案質疑 委員会付託

4日(木) 連合審査会(令和3年度予算)

5日(金) 連合審査会(令和3年度予算)

8日(月) 総務経済委員会

9日(火) 教育厚生委員会

12日(金) 一般質問

15日(月) 一般質問

16日(火) 一般質問

22日(月) 委員長報告 質疑 討論 採決

※変更となる場合があります。

ご了承ください。

議員による寄附行為の禁止について



議員や市長（以下、「政治家」という。）が当該選挙区内の人（以下、「当該選挙人」という。）にお金や物を贈ることは法律で禁止されていますが、当該選挙人が政治家に対し寄附を求めることも法律で禁止されています。

当該選挙人が違反した場合は、3年以下の禁錮又は50万円以下の罰金刑に処せられる場合もありますので、今いちど、寄附の禁止のルールについて、再確認をお願いします。

	× 禁止されています	○ 認められています
あいさつ状（年賀状等）	右記以外の時候のあいさつ状 あいさつを目的とする有料広告の掲載	答礼を目的とし、相手方及び差出人の住所・氏名・本文が本人自筆のものの時候のあいさつ以外の祝電や弔電
給与	給与の返上、給与請求権の放棄	条例改正による給与減額
懇親会	会費制ではない懇親会に実費相当額を支払う会費を払って参加し、あいさつだけで退席	会費制の懇親会に会費を支払って参加
葬式	右記以外の方法で渡す香典 線香、花など金銭による香典以外	本人が自ら出席しその場で渡す香典※ 香典の半額程度の香典返し 読経などに対するお布施
結婚披露宴	右記以外の方法で渡す祝儀、品物	本人が自ら出席しその場で渡す祝儀※
募金	日赤社費での必要最低金額を超える納入 赤い羽根募金	日赤社費での必要最低金額（500円）の納入
その他	入学祝、卒業祝、お中元、お歳暮、 新居祝、祭の寄附	献血 湯茶及びこれに伴い通常用いられる程度の菓子

※ただし、通常一般の社交の程度を超えている場合は×

**前提条件：相手方が選挙区内の住民・事業所であること
（6親等以内の親戚に対して行う行為は寄附にあたらぬ）**

編集後記

去る10月に市議選があり、メンバー構成がガラリと変わりました。市民の負託にこたえ、伊豆市を明るく豊かにする。言うまでもありません。

伊豆市の課題は山積しております。慎重な審議を重ね前に進めてまいります。また国、自治体は、コロナ禍でも生活・経済活動を停滞させないように様々な施策を実施しております。

ワクチン開発が進み、投与も始まります。

市民の皆様、マナー・ルールをお守りいただきますようお願いいたします。

春は目の前です。

議会広報委員長 星谷 和馬



一年間よろしくお祈りいたします！